

【到達目標】

医師は病める人の尊厳を守り、医療の提供と公衆衛生の向上に寄与する職業の重大性を深く認識し、医師としての基本的価値観（プロフェッショナリズム）及び医師としての氏名の遂行必要な資質・能力を身に付けなくてはならない。医師としての基盤形成の段階にある研修医は、基本的価値観を自らのものとし、基本的診療業務ができるレベルの資質・能力を修得する。

＜到達目標の構成＞

- A. 医師としての基本的価値観（プロフェッショナリズム）
 - 1. 社会的使命と公衆衛生への寄与
 - 2. 利他的な態度
 - 3. 人間性の尊重
 - 4. 自らを高める姿勢
- B. 資質・能力
 - 1. 医学・医療における倫理性
 - 2. 医学知識と問題対応能力
 - 3. 診療技能と患者ケア
 - 4. コミュニケーション能力
 - 5. チーム医療の実践
 - 6. 医療の質と安全管理
 - 7. 社会における医療の実践
 - 8. 科学的探究
 - 9. 生涯にわたって共に学ぶ姿勢
- C. 基本的診療業務
 - 1. 一般外来診療
 - 2. 病棟診療
 - 3. 初期救急対応
 - 4. 地域医療